

お告げのマリア修道会

まごころ会

2022年11月

TEL095-846-8300

<https://otsugenomaria.jp>

『わたしは主のはしためです。』

お言葉どおり、この身になりますように。』

ツイッター・インスタグラム・フェイスブックでの発信を始めました。

お告げのマリア修道会のホームページに加え、ツイッター・インスタグラム・フェイスブックで発信を始めました。みことば・動画・写真など、これから少しずつ内容を充実させながら、多くの方々がお告げのマリア修道会を知り、関心を持っていただけるよう、これらを通じて神様のお恵み・働きを分かち合っていけたらと考えています。左のQRコードからホームページ・ツイッター・インスタグラム・フェイスブック・ユーチューブにアクセスできます。ご覧ください。



このバッジが
SNS
の目印です



まごころ会会員帰天、お祈りください

・ヨゼフ	末永政夫	82歳	紐差教会
・マリア	片山シズエ	88歳	紐差教会
・マリア	小林京子	60歳	紐差教会
・モニカ	永 トミ子	89歳	水ノ浦教会

会員帰天、お祈りください

・マリア	中村モニカ	福江修道院
・フィロメナ	山下シズミ	三井楽修道院
・カタリナ	松岡幸子	三井楽修道院

「総会からの新しい歩み」

今回は、召命促進委員会 (Mokunoko) が取り組んでいる活動のひとつを紹介いたします。

それは「お告げのマリア修道会の歴史を巡る旅」で、これまで、3月、9月に行われました。3月は、主にド・ロ神父様の足跡を訪ねました。出津を中心に旧出津救助院やド・ロ記念館の見学、ド・ロ神父様が開墾された大平の茶畑でお茶の苗植え作業を体験しました。また、教会の祈り、沈黙のうちに祈りの時を過ごすなどイエス様と直接に関わる時を持ちました。

9月は、十字会の最初の会員である岩永マキに関わる史跡、十字架山、墓地などを訪れました。明治6年に一人の孤児とともに生活を始め、現在も続いている「浦上養育院」の院長先生のお話を聞きました。本部に戻ったからは、名物「ふくれまんじゅう」を作りました。蒸し器のふたを開けると、形よく膨らんだまんじゅうが出来上がり、手作りのおみやげとなりました。活動とともに祈りの時も充実したものとなりました。

— 参加者の感想 —

「シスター方との会話や、他の参加者との分かち合い、共同での作業、食事、祈りを通してたくさんの方の気づきをいただきました。出津の集落や大平からの広大な眺めに、心底安らぎを感じ、ド・ロ神父様を通して注がれたイエス様の愛を感じる事ができました。」

「岩永マキの生涯もキリシタンの歴史も成人洗礼や信仰する年月が浅い家庭が多い都会に暮らす自分にとって、これからのように自分の信仰を温めていくか、たくさんの方の気づきがありました。」

